

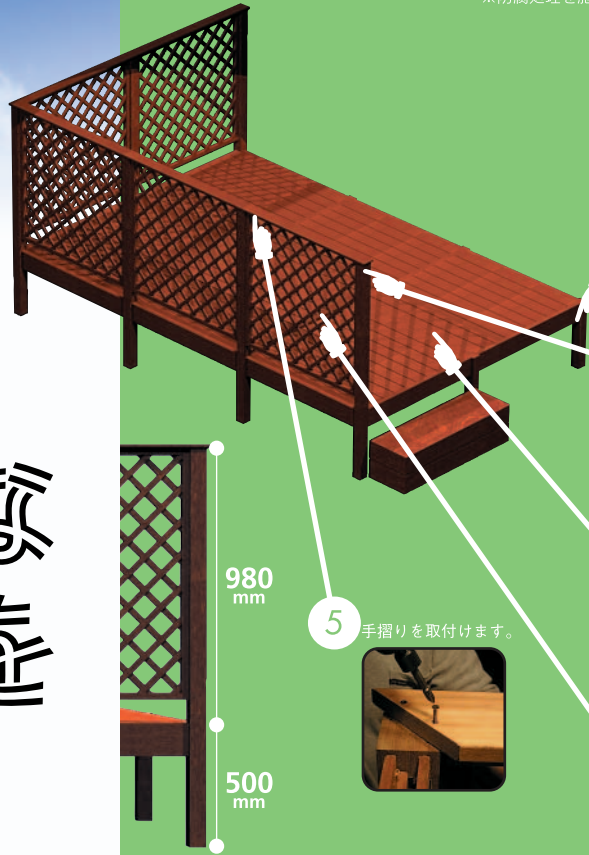


ユニット
デッキ
945

構造がシンプルのためガッチリと組み上がります
天然素材、セランガン・バツ材は耐久性がバツグン

※防腐処理を施さずに10年から18年腐らないとのデータがでています。

本格的な
デッキをお庭に。



組立手順

1 ポスト部分にフレーム受け金物をビス止め。全てのポストにフレーム受け金物を取付けたらフレームとポストをボルト、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで固定します。



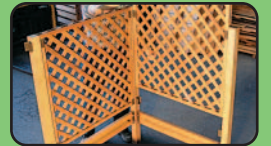
2 ロングポストにスクリーン受け金物を取付けます。



3 デッキパネルをフレームの間にはめ込みます。



4 スクリーンをポストの間にはめ込みます。



5 手摺りを取付けます。



980 mm
500 mm

組立に必要な工具類

- 電動ドリルドライバー
- スパナ (レンチサイズ13mm)
- ノコギリ ●水平器

ユニットデッキのパーツ

- インサイドフレーム (根太受け両面) ●アウトサイドフレーム (根太受け片面) 30x120x915
- ショートポスト 60x60x500 ●ロングポスト 60x60x1450
- デッキパネル945 45x945x945 ●手摺り材 30x90x2100
- ウッドスクリーン (縦横格子) (斜め格子) 40x910x910
- ステップ 250x290x915
- 必要な金物、ビス類は付属しています。

※細かい仕様についてはホームページまたは下記までご連絡下さい。

設置場所の確実なレベル調整で美しい仕上がり

設置場所を囲むようにナイロン糸などを張って水平が簡単に確認できる下準備をします。

- 高低差のあまり無い場所はポストの下にコンクリートの平板を使う方法が簡単。
コンクリート平板の下に土や砂利を敷いてナイロン糸からメジャーで表面までの高さを計りながら調整します。
- ポストの設置面が盛り上がりが高くなっている場合、盛り上がりを削るか、ポスト自体をカットして調整をします。この際もナイロン糸から設置面の高さを計ってカットする長さを決めます。
※コンクリート平板の中心と中心を結んだ距離は約950mmを目安にしてください。
- ナイロン糸を使えない場合は水平器だけでも作業は可能です。

素材の特徴・使用上のご注意

- 使い始めは表面の色素が水に触れて流れ出て設置場所の壁面・床面を茶色くすることがあります。
- 変化は一定しませんが設置後したいに濃い茶色に変わりその後次第にネズミ色に変化します。
- セランガン・バツ材は耐久性のある非常に硬い木材なのでササクレ、トゲなどがささりケガをする危険があります。作業の際には手袋などをご使用下さい。また設置後、歩行には靴、サンダル等の履物を使用して下さい。
- 鉄粉や銅パイプなどの切り粉が木部に付着し酸化すると黒色の斑点が現れることがあります。

佐藤物産株式会社
SATO BUSSAN Co.,Ltd.
www.satobussan.co.jp